

# 英語習得と学習者要因、ICTと英語学習 司法英語

## 研究内容

- ①英語教育 日本人の英語学習の動機づけ、自律学習、学習ストラテジーと英語力の関係、インターネットを用いた英語学習・教育について研究している。日本人は中学・高校で英語を学んでも、英語が話せないという問題は根強く、英語が話せるようになりたいという希望を持つ、高校生、大学生は多い。ICTを利用して、話す力はもちろんバランスの取れた英語力を身に着的けるための方法を研究し、指導の実践を行っている。大学入試における4技能型の英語試験が及ばず英語力への波及効果に注目している。
- ②司法英語 司法通訳人としての経験から、法廷通訳の困難点の分析や通訳技法の研究を行っている。

## 地域・産学連携の可能性

海外からの観光客に対するインバウンド接客英会話講座を実施可能である。(ワールドゲームズ、国連軍縮会議における実績あり)

外国人顧客向けの企業パンフレット等の作成をサポート可能である。(宮城県企業に対する実績あり)

企業の英語講座(TOEIC・ビジネス英語・一般英語・英会話)が実施可能である。(予備校、英会話学校における講師実績あり)

通訳技法研修が実施可能である(東北各県の裁判所における通訳セミナー講師実績あり)

英語bオンラインテスト、英語アプリ試用と評価(過去5件の実績あり)



このテーマに関連する  
東北SDGs研究実践拠点

医工学・健康福祉研究拠点

このテーマに関連するSDGs開発目標



このテーマに関連する  
プロジェクト研究所

ICT教育活用研究所



ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科 英語教育、ビジネス英語、司法英語

佐藤 夏子 SATO Natsuko

准教授、修士(記述・応用言語学)

執筆論文

Electric-field control of conductance in metal quantum point contacts by electric-double-layer gating (Appl. Phys. Lett. 111, 153104 (2017)).



Keyword

英語、自律学習、TOEIC、ビジネス英語、スピーキング、学習ストラテジー、司法英語、通訳